

広報

おおす

2024

11

No.238

成長する夏 中学生海外派遣事業



9月6日(金) 大洲高校藤樹祭 仮装行列が行われました

成長する夏 中学生海外派遣事業



シドニーでオペラハウスを背景に。
南半球のオーストラリアでは6月～8月が冬の季節。

12人が海を越えオーストラリアへ

次の時代を担う人材を育成しようと市内の中学生を対象に実施している「大洲市中学生海外派遣事業」

今年度は5年ぶりに国外での開催となり、参加した市内の中学生12人が7月29日(月)から8月9日(金)の12日間、オーストラリアのシドニーにおいて、ホームステイでの生活や現地学校での授業や活動を通して英語力、そしてコミュニケーション能力を磨きました。

真夏の大冒険を終え、一回りも二回りも成長した12人の感想を次ページから掲載しています。(50音順)

令和6年度 大洲市中学生海外派遣日程

7月29日(月)	出発式、松山空港から羽田空港へ 羽田空港からシドニー空港へ
7月30日(火)	早朝にシドニー空港着 市内観光、研修先でオリエンテーション ホストファミリーと対面後に各家庭へ
7月31日(水)～ 8月6日(火)	午前：英語レッスン 午後：現地学校の授業参加、アクティビティ スポーツ交流等 学校ではバディ※が同行 休日はホストファミリーと交流
8月7日(水)	午前：英語レッスン 午後：報告会（日本文化の紹介） シドニー市内へ移動
8月8日(木)	ブルーマウンテン観光 現地大学生との班別自主研修
8月9日(金)	シドニー空港から羽田空港へ 羽田空港から松山空港 大洲着

※「バディ」とは現地での学校生活をサポートしてくれる生徒を指します



大洲北中学校 岩田^{みずき} 瑞姫 さん

私は英語を書くことも話すことも苦手で、初日から苦戦しましたが、日が過ぎていくごとに少しずつ私から質問したり、話しかけたりと、自分自身でも成長を感じていました。日常的に英語を使うことで、私の反応も自然と英語になっていたり、話すことも以前より頭に浮かぶようになっていたりしました。コミュニケーションをとる上で壁に直面した場面もありましたが、引率してくれた先生や添乗員さんから「^{あいまい}曖昧な意思表示を好む人は少ないから、はっきりと伝えた方が良い」と助言をもらい、自分たちで問題解決までたどり着いたことは、私にとっても貴重な経験となりました。



平野中学校 岡田^{ゆうな} 侑菜 さん

「自分の経験値を増やす」を目標にチャレンジした海外派遣事業。上手くいったことと上手くいかなかったことがありました。オーストラリアの学校ではグループディスカッションや発表の機会が豊富にあり、自分の英語力を試す場として最適でした。自分の気持ちをうまく伝えられず、気持ちが落ち込むこともありましたが、一方で自己成長できるいい機会となりました。語学力だけでなく、コミュニケーションスキルや忍耐力が向上したと実感しています。異文化理解を深めるために他の国の文化や言語にも積極的に触れていきたいと思います。



大洲北中学校 北島 りん さん

12日間親元を離れ、異国の地で多くの人と交流した経験は、私を大きく成長させてくれたと思います。言葉が出てこなかったり、毎回聞き返されたりと、自信がなくなることがありましたが、相手も私の話を聞こうとしてくれているとわかったので、諦めずに伝えようと努力しました。自分の英語が伝わった瞬間は、とてもうれしかったです。思いやりと諦めない心を持って、コミュニケーションをとろうと努力することが大切だと思いました。ホストスクールでは、バディやその友達と仲良くなり、帰国後もメールで交流を続けています。日本文化を紹介するとき、私はけん玉を紹介しました。単語とジェスチャーでコツを教え、皿に玉がのったときには、一緒に喜びました。



肱東中学校 城戸^{なぎ} 凪 さん

バディのクラスで授業と一緒に受けたことは、とても良い経験になりました。

私は数学、ヨーロッパの歴史、キリスト教の研究の授業を体験しました。すべてタブレット端末を使った授業で、ノート代わりに使っている人もいて驚きでした。

私が一番印象的だったのは食事で、日本との文化の違いを感じました。全体的に辛い食べ物が多いと感じました。

海外派遣事業に参加して、コミュニケーションの向上と他国の文化を学ぶという目標を達成できました。この素晴らしい体験をたくさんの人に伝えていきたいです。この機会を与えてもらったことにとても感謝しています。ありがとうございました。



大洲北中学校 小西^{まさむね} 将夢音 さん



海外派遣に行けることが決まったときは、うれしかった反面、英語でコミュニケーションがとれるだろうか、ホームステイ先で生活できるだろうかなどの不安がとてもありました。しかし、その不安はオーストラリアに着いて数日でなくなりました。日が経つごとに少しずつ聞き取れるようになりました。最初はこちらから話しかけることもなかなかできませんでしたが、単語を組み合わせることで伝わることもたくさんあり、会話を楽しむことができるようになりました。現地の学校ではピックボールという体験したことのないスポーツも一緒にすることで、とても楽しい時間を過ごすことができたとともに、コミュニケーション能力も向上させることができました。

大洲南中学校 谷本^{こなつ} 袴夏 さん



現地の学校に通った5日間はあっという間でした。バディや一緒にいる友達が笑うタイミングで自分も一緒に笑おうとしましたが、ジョークがあまり理解できずにただほほ笑む毎日でした。相手が何を伝えようとしているかわからない場面もあったけど、必死に伝えようとしてくれたし、ジェスチャーを使えば伝わることも多く、時には翻訳機に頼るなどして楽しい毎日が過ごせました。観光でセントメアリー大聖堂も見学し、その荘厳さに圧倒されました。初めての事ばかりで緊張の連続でしたが、これからも英語の勉強を続けて世界に目を向けていきたいです。

大洲北中学校 玉田^{きょうたろう} 京太郎 さん



オーストラリアまでは約10時間のフライト。初めての飛行機、初めての海外、初めてのオーストラリアと、すべてが初めてずくしでスタートした海外派遣でした。

現地の学校ではもちろん全て英語の授業で、歴史の授業などはとても難しかったです。バディの二人がとても優しく教えてくれました。

最終日にはブルーマウンテンに登り、テレビで見ていた映像とは全く違った自然の雄大さを肌で感じることもできるとても貴重な時間でした。

もっと英語を好きになり、もっと英語について学んで将来に役立てたいと思いました。現地の人と関わり、将来またオーストラリアに行きたいと考えています。

肱川中学校 樽川^{はやと} 隼人 さん



滞在中、現地の人が「こんにちは」や「ありがとう」と日本語で言ってくれることもあり、みんなとてもフレンドリーで、毎日が楽しかったです。

食事面では、日本と異なる味になかなか慣れず、文化の違いに困惑することもありました。でも、オーストラリアと日本の文化や生活習慣の違いを肌で感じ、ホストファミリーと最後まで楽しく過ごすことができました。日本から持って行ったプレゼントを渡した際は、とても喜んでくれてうれしかったです。

今回の派遣事業は毎日が貴重な体験の連続で、一生忘れることのない素晴らしい思い出になりました。



大洲南中学校 辻^{のの}野乃さん

ホストファミリーはとても優しく、すぐに打ち解けました。毎日、一緒に夕食の準備をしたり、ゲームをしたりして盛り上がりました。学校では、私のバディはとても明るく一緒にいるのが楽しかったです。隣の席で授業を受けたり、ランチを一緒に食べたり、英語や日本語を教え合ったりしました。グータッチやハイタッチ、日本の手遊びを組み合わせ世界に一つだけのハンドシェイクを作ったことが一番の思い出です。お別れのときは、ハンドシェイクをして、ハグをしました。とても悲しかったけど、日本に帰れると思ったら、ほっとする気持ちもありました。約2週間の期間でしたが、貴重な体験ができたことに心から感謝しています。



大洲北中学校 東^{りょうたろう}遼太朗さん

本場の英語に触れ、会話の難しさを実感しました。でも、立ち止まってはられず、気合いと根性で何度も聞き返し、文法がバラバラでもとにかく会話し続けました。すると、相手もわかりやすい表現に言い換え、ゆっくり返事をしてくれて、何となくこんなこと言っているんだろうな…と理解できるようになっていきました。ホストファミリーと過ごす最後の日、勇気を出して感謝の気持ちを学んだ英語で必死に伝えました。この夏、最高の忘れられない思い出を作ることができました。

今回、僕はリーダーという役割を務め、現地の学生の前でスピーチをしました。ただどしい英語ではあったものの、貴重な体験ができました。面白いことには、飛び込んでみることの大切さを改めて感じました。



新谷中学校 森野^{こうし}航至さん

学校生活は日本と違い、授業は先生が教えながらやるのではなく、先生から与えられた課題を生徒が解き進めるものでした。1教科は60分で、授業間の休みがなく連続して授業をしたり、お菓子を食べる中休みもあったりしました。ブルーマウンテンでは、ユーカリの葉の油によって森が青く見えるという日本にはない景色を見ることができました。一生忘れられない最高の思い出をたくさん作ることができ、自分でも変わったなと思う点がいくつかあります。それは、海外派遣に行く前と比べてリスニングが格段に上達していて、英語を学ぶのが楽しくなり、英語がさらに好きになったことです。また、友達や家族など人と関わる時間をより大事にするようになりました。英語の勉強だけではなく人として大きく成長できたと思います。



大洲南中学校 薬師寺^{そうすけ}崇介さん

海外派遣に行く前は不安に思うことが多くありましたが、現地ではその不安以上に多くのことを学ぶことができました。

ホストファミリーは温かく迎え入れてくれて、子供と遊んだりショッピングを楽しんだりしました。バディは学校でのルールなどたくさん教えてくれて、とても快適な時間を過ごすことができました。お別れするときはとても寂しく、ファミリーやバディとの集合写真をたくさん撮って帰ってきました。

現地学校で給食を食べることがなく、いつもホストファミリーがランチボックスを持たせてくれました。その中身はいつもサンドイッチで、シンプルでとてもおいしく、日本に帰ってから自分で作って食べています。

